

図書館だより 事業のご案内



課題図書コーナー 図書館・千代田分館に設置

課題図書を図書館および千代田分館の特集コーナーに設置しました。設置したのは、茨城新聞小学生読書感想文コンクール、青少年読書感想文全国コンクールの課題図書です。

7・8月中は課題図書の貸し出しに制限があります。

★市内居住者のみ ★予約・貸し出しは1人1冊まで

★貸し出し期間は15日まで(延長不可)

図書館 029-897-0647

たくさんの方が
利用できるように

インターネット ★★借りたい資料を携帯やパソコンから検索できます★★

図書検索

【パソコンで】「かすみがうら市立図書館」と検索後⇒「図書検索」画面
【携帯電話で】右のQRコードを読み込むと図書館HPを閲覧できます。または
<http://edu.city.kasumigaura.ibaraki.jp/lib/iliswing/we/opac/mb/kensaku.jsp>



携帯電話用
QRコード

さらに、借りたい資料が貸し出し中だった場合に限り、その資料を予約することができます。

(申請・登録は中学生以上を対象とさせていただきます。)

① パスワードを申請・登録しよう!

図書館利用カードと身分証明書を持参し、図書館または分館でパスワードを登録してください。

② 図書が図書館・分館にあるか検索!

パソコンまたは携帯電話から「図書検索」画面で借りたい本があるか確認できます。

③ 貸し出し中だった場合はそのまま予約!

貸し出し中の資料(貸し出し禁止資料を除く)を予約し、受け取り場所に図書館または分館を選びます。

④ 連絡があったら指定場所へGO!

借りたい図書が戻ってきたら、図書館から電話で連絡があります。



Q 市へ日頃考えている提案をしたいのですがどうしたらいいのでしょうか?

A 封書やホームページのメールで提出することができます。

◆市に提案をする方法

市民参加のまちづくりを進めるため、皆さんの市政への提案や提言を次のような方法でお寄せいただいています。

私の提案・意見

まちづくりに対する提案・意見を広く募集しています。両庁舎・出張所に設置してある提案書に記載し、郵送してください。市から回答ができるよう、氏名、住所を正しく記載してください。(広聴広報課)



意見公募手続

市の基本的な政策などの策定段階で、その趣旨、内容を公表し、皆さんに意見を求め、それらを考慮して意志決定を行う手続きで、市民の皆さんの行政への参加と市政運営を公平に、また透明に実施する制度です。(企画課)

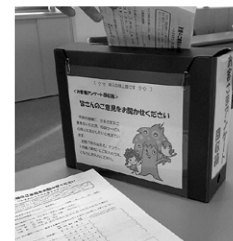
ホームページでの問い合わせ

市ホームページ最下段の「お問い合わせ」から、各課へ直接メールすることができます。氏名、住所を正しく記載してください。担当課で内容を精査のうえ、回答いたします。(広聴広報課)



お客さまアンケート

より一層の行政サービスの改善・向上に向けて、両庁舎および出張所などのホールにお客さまアンケートを設置しています。記載したら専用のボックスへお入れください。(総務課)



◆要望事項は区長を通じて

地域の生活の中で気づいた行政に対する要望は、区長を通じて広聴広報課へ提出していただいています。年間200件を超える要望のうち、道路の補修・排水整備が約5割、防犯灯設置や交通安全施設の設置などが4割を占めています。

市では、区長からの要望を各担当課で協議し一定の優先順位に従い、予算の範囲内で「市が実施すべきもの」「行政区の市民協力を得て行うもの」「行政区と市とが連携して解決すること」などさまざまな要望について対処しています。

(要望書に関すること…広聴広報課、防犯灯・交通安全施設に関すること…総務課)



問い合わせは 広聴広報課 ☎内線 1152

市長随想

16

食育

平成17年に「食育基本法」が制定された。食育とは生きる上での基本であり、知育、徳育、体育の基礎となるものと定義されている。

近年、子どもたちの食生活の乱れや食意識が低下する中で、生活習慣病の増加などが社会問題になり、正しい食生活を取り戻す国民運動として食育の取り組みが始まったと思われる。

日本が世界一の長寿国となり、生活環境の改善、医学の進歩と合わせ、穀物、大豆、野菜を中心に山海の幸を取り入れてきた、日本型食事が見直されつつある。

日本には四季があり、折々の産品が生産、消費されている。春には自然界の芽吹きとともに、山菜や木の芽などのように蓄えられたエネルギーが芽吹き、食さ

れて希望と活力がみなぎる。夏は気温が上がり、トマト、きゅうりなどのフレッシュ野菜が旬となり、サラダなど生で食することとで体を冷やしてくれる。秋は黄金色の稲穂や色づいた果実などが、じっくりと成長して完熟する実りの季節。おいしさと栄養を蓄えるときである。木枯しが吹く冬。自然界が眠りにつき頃、地中にはさといも、さつまいも、だいこんなどの根菜類の出番。温かい煮物が冷えた体を温めてくれる。この四季折々にできる食べ物が旬である。

わが市は、霞ヶ浦から筑波山系の恵まれた風土によって、多様な豊かな産品が生まれている。地域で生産される旬に採れたものは栄養化も高く、おいしいし、安価で健康にも一番。この恵みを再発見することが食育の第一歩となる。

かすみがうら市長 坪井 透



市のここが知りたい

第16回

「市への提案・要望」

このコーナーでは、市役所各課に寄せられた皆さまからの質問や提言に対して法律や市の制度などをお知らせします。